

科目名	子どもの保健		担当教員	大森 裕子	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED1CSR116
期待される学修成果	子ども理解 自己形成				
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク				
実務経験	看護師、保健師				
実務経験を生かした授業内容	医療機関での看護師の勤務経験、地域における子育て支援活動の経験を踏まえて講義を展開する。				
到達目標及びテーマ	子どもの成長・発達の特徴を理解し、健康増進を図ることができる資質を身につける。 1. 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解し、説明できる。 2. 子どもの身体的な成長・発達の特徴と保健について理解し、説明できる。 3. 子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解し、説明できる。 4. 子どもの疾病とその予防法及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解し、説明できる。				
授業の概要	子どもの身体的発育、生理機能、運動機能、精神機能の発達の特徴について学習し、子どもの保健活動の意義について考察する。また、子どもに起こりやすい疾患の特徴を知り、子どもの健康状態の把握方法や疾病予防法、適切な対応について学習する。				

授業計画	
第1回	子どもの保健活動の意義と目的、子どもの健康の概念と健康指標、子どもの健康に関する現状と課題
第2回	子どもの身体的発育・発達
第3回	子どもの生理機能の発達
第4回	子どもの運動機能の発達
第5回	子どもの精神機能の発達
第6回	子どもの発育・発達の把握と健康診断、子どもの健康状態の観察と異常の早期発見
第7回	子どもに多い疾病の特徴、予防・対応(1) アレルギー性疾患（食物アレルギー）
第8回	子どもに多い疾病の特徴、予防・対応(2) アレルギー性疾患（アトピー性皮膚炎、気管支喘息）
第9回	子どもに多い疾病の特徴、予防・対応(3) 感染症①（ウイルス感染、細菌感染、寄生虫など）
第10回	子どもに多い疾病の特徴、予防・対応(4) 感染症②（症状と対応）
第11回	子どもに多い疾病の特徴、予防・対応(5) 呼吸器疾患、消化器疾患
第12回	子どもに多い疾病の特徴、予防・対応(6) 血液系疾患、代謝系疾患、整形外科系疾患
第13回	子どもに多い疾病の特徴、予防・対応(7) 精神保健、応急処置
第14回	保健活動と保健計画
第15回	保健活動の実際 「保健だより」の作成

事前学修	2時間	1～6回：テキストの授業計画に関連する箇所を読み、各年齢ごとの特徴を整理する。 7～13回：テキストの授業計画に関する箇所を読み、その原因と症状について整理する。 14、15回：1～13回で学習した内容を振り返り、関心がある事柄について調べてくる。
事後学修	2時間	授業時に提示する事後課題を提出する。
フィードバックの方法	事後課題についてのコメントを全体ないし個別に返却する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	70%	保健活動および疾患の特徴に関する知識を問う。
レポート	30%	事後課題および健康が子どもに及ぼす影響についての考察等を総合的に評価する。

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
子どもの保健 I 【第2版】	服部右子	みらい	9784860154066	なし
参考資料				